



校長就任の御挨拶



この4月に校長に就任いたしました友松です。よろしく申し上げます。

教育部長、副校長としてこれまで3年間農大で勤務してきた経験

を生かし、職員間の一層の連携強化のもと、組織の力で農大の円滑な運営並びに教育・研修の推進に努めてまいります。関係各位の、今後も変わらぬ御理解と御支援をお願いします。

さて、4月11日に教育部農学科の入学式を挙行了しました。学生数は、1年97名、2年93名、合計では190名となりました。

幸いにして近年では、受験者数が定員を上回る状況が続いております。これからも、就農に意欲のある学生を一人でも多く確保するため、より積極的な学生募集の活動を進めてまいります。

さて、近年、ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用した「スマート農業」が様々な分野で実用化されています。

本校でも、時代の流れに即した農業教育を行うため、「スマート農業」のカリキュラムへの積極的な導入を進めています。

その取り組みのひとつとして、本年度新たに、施設野菜専攻にトマトのICT温室を整備することとなりました。この温室は、光、温度、湿度や炭酸ガス濃度を、トマトの生育に最適となるようコンピューターで自動制御するもので、高品質化、高収量が可能になる次世代型の最先端温室です。

一方、農大では、老朽化した施設や機械もまだ数多く残っており、毎年、予算を確保しながら、順次その更新に務めていると

ころです。

本年度につきましては、酪農専攻のフリーストール牛舎の搾乳システム（ミルクングパーラー）を20年ぶりに更新することとなりました。最新システムの導入により、毎日の搾乳作業の効率化が図られるとともに、牛の個体管理の徹底、衛生管理の徹底による出荷乳量の増加も見込まれ、学生の学習効果も一層高まります。

また、研修部において、農業者の様々なニーズを踏まえ、農業者生涯教育研修を始めとする各種研修を計画的に実施しているところ です。

そのひとつとして、昨年度新たに実施した「農業経営塾」を本年度も実施します。9月から2月にかけて、高度な経営力の習得のための12回の講座を開講し、財務管理や労務管理、マーケティングや「カイゼン」のトヨタ生産方式の手法等を学びます。

7月頃に募集を開始する予定としておりますので、経営発展に意欲ある農業者の積極的な応募をお待ちしています。

なお、御承知のとおり、最近本県で豚コレラが多発しております。本校でも学生の教育用に豚を飼養しているため、石灰散布、靴底や手指消毒をはじめ様々な防疫対策を講じているところです。

農大に御来校の際は、お手数をおかけして大変恐縮ですが、農大が実施している防疫対策に御協力をお願いします。

最後に、学生や研修生の教育・研修に対する環境がより一層整備されるよう、今後も関係機関との連携のもと、ソフト、ハードの両面から積極的な検討・取組を進めてまいります。関係各位の、引き続きの御支援をお願い申し上げます。私からの校長就任にあたっての御挨拶とさせていただきます。
(校長 友松 啓二)

平成31年度入学式を挙行了しました

教育部農学科の入学式を、4月11日（木）に挙行了しました。今年は、校内の桜も長く花を着けており、新入生の入学を歓迎するようでした。今年は97名（男子73名、女子24名）が入学し、多くの御来賓や保護者が見守る厳粛な雰囲気の中、若干緊張した表情で式典に臨んでいました。

新2年生93名と合わせ、190名（男子141名、女子49名）の学生数となり、全国の農大でも最大規模となっています。



〔厳粛な雰囲気で挙行された入学式〕

式終了後は、学生寮の食堂において新入生と保護者が、緊張感も幾分和らいだ中で、恒例となったカレーライスの昼食をとり、午後からは学生証の交付等の入学手続き、実習服や教科書の購入が行われました。

皆の表情から、これから始まる新しい大学生活に多少不安な面はあるものの、期待と希望に胸ふくらませている様子を感じることができました。

その後は入寮のため、様々な生活用品の舎室への搬入作業を行い、キャンパスは慌ただしい一日となりました。

新入生それぞれがこの2年間に有意義に過ごし、高度な技術を習得するとともに、社会性を身につけて本県の農業を担うリーダーとして大きく成長することが期待されます。
(学務科 伊藤 正美)

農学科の始業式を行いました

入学式の翌日の4月12日（金）、まだ肌寒さが残る中、平成31年度の始業式を行いました。新入生と上級生が一堂に会するのは初めての機会です。中には緊張した面持ちの新入生も見受けられました。友松校長は、「2年間という短い間で、確かな知識と技術力を身に付け、卒業後農業界で即戦力となれるよう日々精進を重ねてほしい。」と学生に期待を寄せるあいさつをしました。

新入生は、前日から始まった和耕寮での生活やこれからの専攻実習、新たな出会いに不安を抱きつつも、瞳の奥にはきらりと光るものがあり、学ぶ意欲を感じました。

2年生は就職活動が本格化する中、卒業論文の製作に取り組む等、忙しい1年となります。上級生としての自覚を持ち、学生の牽引役として活躍することが期待されています。

始業式に続いて、職員の自己紹介、学生連絡会が行われました。学生連絡会では、学習指導、生活指導、進路指導の各担当者から今年度の方針など大学校生活を送るうえでの注意点を説明しました。

午後からは、新入生オリエンテーションを行い、最初に農業大学校の実習風景や行事、寮での生活について、映像を交え紹介をしました。スライドに映る先輩の活躍や取組を見ているうちに新入生の緊張感もしだいに解れていきました。その後、大学校規則、教育カリキュラムの概要、学生寮での生活、進路選択の注意点、派遣実習の概要と心構え、次世代人材投資資金などの説明を行い、皆真剣な眼差しで聞いていました。学生会からの、各クラブ活動の紹介もあり、各クラブの代表者が活動内容や方針を説明しました。

新入生は、この一日で農業大学校でのキャンパスライフが身近になったと思います。この中から、将来日本の農業を担うリーダーが大勢出てくることが期待されます。
(学務科 鈴木 聡)

今年も新規就農希望者向けの研修を 実施します

研修部では、新規就農を希望する社会人に対して、「ニューファーマーズ研修」、「農業者育成支援研修」及び「雇用創出農業研修」の3つの研修を実施しています。

○ニューファーマーズ研修(募集終了)は、Uターン就農者や新規参入者を対象とし、地元での実習(900時間)と本校での講義等(週1~2回)を行う研修です。今年は尾張、知多、西三河、豊田加茂、田原地域から応募があり、受講者を選考する面接を経て、4月18日(木)に19名の研修生で開講しました。研修は翌年2月末までの10か月間、実施します。



[2019年度ニューファーマーズ研修生のみなさん]

○雇用創出農業研修(募集終了)

離職者の公共職業訓練に位置づけられている研修で、週5日、本校での実習や講義等により農業の基礎を学びます。選考会により合格した受講生30名を対象に5月8日(水)から翌年2月上旬までの9か月間実施します。

○農業者育成支援研修(募集中)

農業者育成支援研修は、異分野からの新規就農希望者を対象に、週3日、本校で露地野菜の実習と講義を行う研修です。現在、受講生を募集中で、募集期間は5月7日(火)までとなっています。皆様の身近に農業の基礎を勉強したい方がみえましたら、本校研修部をご紹介ください。

(就農支援科 石本 聖絵)

学校の先生を対象とした 「夏野菜栽培セミナー」を初めて開催!

本校職員が岡崎市内の小学校に出向き、野菜の栽培・管理を通して農業への関心を育む農業ふれあい研修「出前授業」を、平成29年度から取り組んでいます。

本年度は5月7日(火)から5月17日(金)までに市内8小学校で開催する予定です。この「出前授業」をさらに新しい学校へ広げるため、小学校で児童に基本的な野菜栽培管理を先生が指導できるよう、4月23日(火)に先生を対象にした「夏野菜栽培セミナー」を農大で開催しました。校務終了後の17時30分からのスタートでしたが、岡崎市内の9校から29名と多くの先生の参加がありました。

齋藤就農支援科長から農大の概要紹介の後、職員の指導により、ほ場で野菜苗の定植作業、支柱立ての実演、実習を行いました。実習後は、土づくり、夏野菜のミニトマト・ナス・キュウリ・ピーマンなどの定植、整枝、その後の管理、トウモロコシ・サツマイモの栽培ポイント等の講義を行いました。先生たちは熱心に聴講し質問も多数で、やる気に溢れたセミナーとなりました。終了後のアンケートでは、「支柱の立て方実演は参考になった」、「アサガオ鉢での水やりのポイントが理解でき良かった」、「今後もこのような研修をして欲しい」等の意見がありました。これらを参考に、次年度に向けた内容のアップデートを図りたいと思います。(就農支援科 河野真砂子)



[研修部ほ場での定植作業の実技指導]

農大からのお知らせ

◇本年度の主な日程◇

・オープンキャンパス（農大発見の日）

第1回 6月8日（土）

第2回 6月15日（土）

いずれも午前10時から正午まで

対象：農業大学校入学に関心のある方及びその家族又は学校の先生

実施場所：農業大学校

岡崎市美合町字並松1-2

事前申込は不要です。

問合せ先：学務科（伊藤）0564-51-1602

・サマーキャンパス

（農大キャンパスツアー）

第1回 7月31日（水）

第2回 8月7日（水）

第3回 8月28日（水）

いずれも午後1時30分から午後3時まで

詳細は今後お伝えします。

問合せ先：学務科（伊藤）0564-51-1602

◇農学科後援会◇

・農学科後援会総会

日時：5月23日（木）午前11時から

場所：農業大学校

問合せ先：学務科（伊藤）0564-51-1602

・農学科後援会地域研修会

開催地区：尾張・海部地区、知多地区、西三河地区、東三河地区、田原地区

開催期日：6月下旬から7月に予定

問合せ先：学務科（伊藤）0564-51-1602



◇生産物実習販売ごよみ◇

平成30年5月の生産物実習販売についてお知らせします。

販売日：5月8日、15日、22日、29日、
（祝日を除く毎週水曜日です。）

時間：午後3時から

場所：農業大学校体育館

※なお、袋入り堆肥の販売は、豚コレラ防疫対策の実施状況に合わせて再開します（現時点では、6月からの販売再開を予定しています）。

問合せ先：農学科（山本）0564-51-1673

◇就農希望者向け研修の研修生募集◇

・農業者育成支援研修

対象：主に農業以外の分野から新規就農を希望する方

期間：5月13日（月）から翌年1月20日（月）までの週3～4回
（長期間の研修です。）

場所：農業大学校

内容：露地野菜の基礎的な実習と講義

募集期間：5月7日（月）まで

受講申請方法等の詳細については下記にお問い合わせください。

問合せ先：就農支援科（中村）

0564-51-1034

校内で豚コレラ防疫対策実施中

農大では、豚コレラ防疫対策を以下のとおり実施中です。来校される皆様の御理解と御協力をお願いします。

○畜舎のある衛生管理区域への関係者以外の立入禁止

○農大内の主要な通行ポイントに消毒用の消石灰を散布

○主要な教育施設の各出入口付近全てに踏込消毒槽を設置（靴の消毒）

○関係車両等の消毒の徹底
（車両消毒槽、動力噴霧器）

○その他、諸防疫対策を実施